

平成 27 年度 はあもにい共生型事業報告

項目	主な概要
運営方針及び目的	「はあもにい」を核とした様々な企画により、高齢者や児童、障がいを持った方々が互いに交流したり、地域住民との交流の機会を増すことで、豊かな地域生活を目指す。
ご近所野菜市	<p>8月初旬～9月末の毎週火曜日・金曜日に開催</p> <p>出店者は地域の高齢者と障害者施設の団体が1回平均 6店舗ほど出店し、平均3万円程度の売り上げがあった。4年目の企画でもあり、楽しみに訪れる方も増えおり、高齢者の単身世帯が多い公営住宅地区と、大町ななかまど駐車場を活用して行った。</p> <p>「ななかまど」横での野菜市は回数を重ねるごとに利用客が増加したが、人の流れを見ると午前10時～11時頃が多い。</p>
学童企画事業	<p>夏の学童企画として、手作り椅子の工作体験を実施。25名の学童が参加し昼食は外で「流しそうめん」を味わう。工作補助や昼食サポートとして高齢者等が援助。</p> <p>冬の学童企画として、「ビー玉迷路」を実施。9名の学童が参加し、思い思いのデザインで個性豊かなモザイクアートを仕上げていた。昼食は、手作りお好み焼きを子供達と共に作り、なかなかの味わいで笑顔も多く見られる。</p> <p>今年度も参加希望者を見ると、初めて参加した方も多く見られ、活動の広がりを感じられる。</p>
ほっこり地域食堂	<p>毎月1回の開催を行う。主催はNPO法人「御用聞きわらび」が実施。わらび主催では1回30名～40名程の参加者があり、季節の味と楽しい会話のほか、歌声喫茶風や読み聞かせなど工夫を凝らした企画で参加された高齢者には好評である。</p> <p>その他、「ほっこり調理体験」として高齢者が講師となって春には「山菜調理体験」などを実施。また障がい者の調理体験として、ポプリ主催や・はまなす会主催で実施した。自分の手で調理する喜びは食に向かう心と体を豊かにし好評である。</p>
サークル活動他	各種団体の会議やミーティングで活用 150件述べ 1513名